

BYD 漢L、唐Lを発売

4月9日、BYDの漢L/唐Lが発売され、EVモデルは21.98～28.98万元、DMモデルは20.98～28.58万元であった。漢L EV/唐L EVはスーパーeプラットフォームを搭載し、キロボルト高電圧アーキテクチャとフラッシュチャージバッテリーを備えている。漢Lは10Cの充電レート（5分で400km走行可能な充電）に対応、唐Lは8.4の充電レート（5分で370km走行可能な充電）を実現し、充電性能はカーレースレベルに達している。



BYDのメガワット級フラッシュ充電、技術が業界変革をけん引し、充電効率を新たな高みに押し上げ、新エネルギー車分野におけるリーダーシップポジションを固めると同時に業界全体の充電技術の向上を加速させている。

長安 ハンター-K50を正式に発売

4月24日、長安汽車はグローバルピックアップトラック開発計画の発表会兼長安ハンター-K50発売セレモニーを盛大に開催した。

長安ハンター-K50の小売希望価格は18.29万～19.29万元で、国内初のL2レベルのスマートドライビングアシストシステムを搭載したピックアップトラックモデルとして、スマートピックアップの新時代を開いた。



将来のグローバル計画について、長安ピックアップトラックは“12324”グローバル戦略をスタートさせ、3年以内に3-4種類のグローバルモデルを発売し、B/C/D級市場を網羅し、硬派PPVモデルを同時に開発し、最もユーザー価値のあるピックアップトラックを創り出すことに注力している。

小米初のSUV—YU7がバールを脱ぐ

5月22日晚、小米の15周年戦略新製品発表会で、同社の第二の車種——スマート電動SUV YU7が正式にお目見えした。

この豪華な高性能SUVは標準装備として非常に長い航続距離、小米パノラマフルーフ、700 TOPS自動運転演算力、レーザーレーダー及び可変減衰サスペンションシステムを搭載している。



注目すべきは、これまでの格納式ドアハンドルの安全性への疑義に対して、YU7は革新的に全格納式電動ドアハンドル設計を採用し、電動内反構造を設計し、センサーで自動開閉ができるようにし、且つムードライトのアラート機能を搭載し、美観を保ちながら安全性も両立した。

Xpeng G7がまもなく発売、L3レベルの演算力を搭載

新型車種Xpeng G7が6月11日19時30分に全世界にお披露目される。

Xpeng G7は“ハードコアテクノロジーと快適空間”の完璧な融合を実現し、スマートSUV市場のベンチマーク製品となった。未来に向けたスマートドライビングカーとして、G7はL3レベル自動運転演算力プラットフォームを率先して搭載し、AI自動車の技術基準を再定義した。



XpengはL3+高次なスマート運転システムのブレイクスルーを果たし、AI演算力プラットフォームと豪華な空間体験が密接に融合した次世代スマート電動車の製品マトリックスを構築する。